

議第14号

令和5年度京都市公共下水道事業特別会計予算

(総則)

第1条 令和5年度京都市公共下水道事業特別会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

| 事 項 | 区 分 | 事 業 量 | 概 要 |
|------------------|-----|--------------------------------------|------------------------|
| 年間流入下水量 | | 342,256,000 ^{m³} | |
| 1日平均流入下水量 | | 935,000 | |
| 主要な建設改良事業 | | 千円 | |
| 公共下水道整備事業 | | 19,000,000 | |
| 下水道管路の改築更新・地震対策 | | 7,030,000 | 老朽管の改築更新及び重要な管路の耐震化等 |
| 下水処理施設の改築更新・地震対策 | | 5,875,000 | 水環境保全センター施設の改築更新及び地震対策 |
| 浸水対策 | | 4,406,000 | 雨水幹線等の整備 |
| 水環境対策 | | 1,689,000 | 合流式下水道の改善等 |

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収 入

| | |
|---------------|--------------|
| 第1款 公共下水道事業収益 | 50,375,000千円 |
| 第1項 事業収益 | 42,602,575千円 |
| 第2項 事業外収益 | 7,772,425千円 |

支 出

| | |
|---------------|--------------|
| 第1款 公共下水道事業費用 | 47,589,000千円 |
| 第1項 事業費用 | 43,420,785千円 |

第2項 事業外費用 4,168,215千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額22,474,000千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,352,000千円、損益勘定留保資金等21,122,000千円で補填するものとする。）。

収 入

| | |
|-------------------------|--------------|
| 第1款 公共下水道事業資本的収入 | 17,593,600千円 |
| 第1項 企業債 | 13,345,000千円 |
| 第2項 国庫補助金 | 3,796,600千円 |
| 第3項 工事負担金 | 336,044千円 |
| 第4項 分担金 | 750千円 |
| 第5項 基金収入 | 1,500千円 |
| 第6項 基金繰入金 | 113,706千円 |
| 第2款 水洗便所築造工事資金貸付事業資本的収入 | 22,400千円 |
| 第1項 貸付金回収金 | 22,400千円 |
| 合 計 | 17,616,000千円 |

支 出

| | |
|-------------------------|--------------|
| 第1款 公共下水道事業資本的支出 | 40,067,600千円 |
| 第1項 建設改良費 | 20,489,201千円 |
| 第2項 企業債償還金 | 19,576,342千円 |
| 第3項 投資 | 2,057千円 |
| 第2款 水洗便所築造工事資金貸付事業資本的支出 | 22,400千円 |
| 第1項 貸付金 | 22,400千円 |
| 合 計 | 40,090,000千円 |

(債務負担行為)

第5条 債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、次のとおりと定める。

| 事 項 | 期 間 | 限 度 額 |
|-----------|----------------|------------------|
| 公共下水道整備事業 | 令和5年度から令和8年度まで | 千円 15,000,000 |
| 諸施設整備 | 令和5年度及び令和6年度 | 130,000 |
| 諸施設修繕 | 令和5年度及び令和6年度 | 200,000 |
| 施設運転管理等業務 | 令和5年度から令和9年度まで | 2,061,000 |

(企業債)

第6条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

| 起債の目的 | 限 度 額 | 起債の方法 | 利 率 | 償還の方法 |
|------------|------------------|--------------------------------------|---|---|
| 公共下水道建設改良費 | 千円 12,984,000 | 証券発行(他の地方公共団体と共同発行を含む。)又は消費貸借の方法による。 | % 8.0以内 ただし、利率見直し方式で借り入れる政府資金及び地方公共団体金融機構資金については、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率 | 起債の日から据置期間を含め40年以内、元金均等その他の方法により償還する。ただし、財政の都合その他によつては、繰上償還をすることができる。 |
| 流域下水道建設分担金 | 361,000 | | | |
| 計 | 13,345,000 | | | |

(一時借入金)

第7条 一時借入金の限度額は、7,000,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第8条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

- (1) 消費税及び地方消費税に不足が生じた場合における事業費用及び事業外費用の間の流用

(たな卸資産購入限度額)

第9条 たな卸資産の購入限度額は、6,000千円と定める。

令和5年2月16日提出

京都市長 門川大作